



# 迫り来る東海、東南海の巨大地震により発生する長周期地震動の対策を石油タンク、高層ビルに施すべし



「短い周期の振り子」  
一般の地震の周期で揺れる  
《低層の建物》

「長い周期の振り子」  
長周期地震で激しく揺れる  
《高層ビル・石油タンクのスロッシング現象》

手作りの模型にて、長周期地震動の高層ビル、石油タンクの共振現象について説明する河野としのり県議



「関東はすり鉢上の地下構造ゆえに長周期地震動の巣になっている」

長周期地震動の速度スペクトル分布図を説明する河野としのり県議

**河野としのり県議**

長周期地震動の波は地盤の表面を減衰も少なく長距離走り、地下構造がすり鉢状でその中に堆積した軟弱な地盤つまり関東平野などの堆積盆地に來ると揺れが増幅し揺れが長い時間続きます。この波の恐いのは、波と同じ固有周波数を持つ地上の構造物を共振させ破壊さす事です。物には固有の周期があります。石油タンクや高層ビルの固有周期が長周期地震動の周期と一致した時、音さが同じ振動に共鳴し音を出すように、共振という現象を起こし、構造物は激しく揺れ壊れていきます。対策をとるべきである。

**総務部長**

県として長周期地震動対策を重要な課題として取り組み、九都県市合同で、国に対し、高層ビルや石油タンクなどに被害を及ぼす長周期地震動に関する調査をし、その成果を活かした対策を早急に示すよう求めます。



**成育医療の充実を訴える**

**河野としのり県議**

小児期の疾患を成人期まで持ち越し、適切に対応する機関が見つからないというキャリアオーバーの問題が有る。現状は、小児病院は独立型の医療施設であり成人期に至った患者の受け皿がなく、成人期へ移行した患者も小児病院で診察を継続している、これは成人期合併症に対する専門性の観点からも良くない。このような現状から、出生前の胎児から出生後の新生児、小児、そして思春期を経て次世代を産み育てる成人世代の心身の健康を連続的に包括的に捉えた医療として成育医療が新しいモデルとして生まれ、県も進めるべきである。

**健康福祉部長**

医療の進歩に伴い、治癒する患者も増える一方で、成人になっても疾病をお持ちの方が増えることも予想されます。このため、成育医療という、新たな視点による医療連携体制について、今後、研究していきたい。



## 知事に「予算要望書」を会派を代表し手渡す!!



河野としのり政調会長は、2011年度予算編成に関する要望を纏め、政調委員と共に森田健作知事に直接説明し提出した。

### 河野としのり県議が予算編成の中で強く訴えた要望内容

- ① 高齢者の福祉の充実
- ② 医療サービスの整備
- ③ 子育て支援の充実
- ④ 若者の雇用の場の拡大
- ⑤ 長周期地震動対策
- ⑥ JR京葉線のダイヤの増発と強風対策



知事室にて特に美浜区民の想いを込め知事に訴える河野としのり県議

新年度予算で要望書アクア恒久値下げも  
民主党県議会議員会  
民主党県議会議員会(21人は17日、県の2011年度予算編成に関する要望をまとめ、森田健作知事に提出した。

同議員会は、教育や医療、経済、行政改革など九つのテーマを掲げ、各議員から要望の多かった項目を中心に要望書を作成した。森田県政では野党的立場だが、森田知事が公約に掲げる東京湾アクアラインの恒久的な通行料値下げの実現も盛り込んだ。

このほか、子育て環境の整備や医師・看護師不足の解消をはじめ、三番瀬のラムサール条約登録と保全条例の制定などを訴えた。

千葉県報 平成22年11月18日号より抜粋

